

精神衛生センターの過去と将来—20年の歩みをふりかえって—

石原幸夫

(神奈川県立精神衛生センター所長)

それでは「精神衛生センターの過去と将来—20年の歩みをふりかえって」ということで約1時間近くお話いたします。この重要なテーマを全国のセンターの先生方の前で特別記念講演としてお話できることを光栄に思います。機会を与えて下さった研究協議会会長乾正先生に感謝いたします。

さて精神衛生センターの過去については、全国精神衛生センター長会の歴史をふりかえり、所長会の歴史を通してながめてみたいと思います。また、精神衛生センターの未来については、私見を交えて日常考えていることの若干を申し上げてみたいと思います。

わが国の精神衛生センターは昭和40年の精神衛生法改正によって設置されました。それまでは精神衛生相談所が全国に設けられていたわけですが、精神衛生センターの発足と共に相談所は発展的に解消いたしました。

まずはじめに精神衛生相談所時代をふりかえってみたいと思います。

1. 精神衛生相談所時代について

この時代の精神衛生の状況についてながめてみますと、昭和25年には精神衛生法が公布され、昭和27年には国立精神衛生研究所が設けられました。翌28年には日本精神衛生連盟が結成され、最初の全国精神衛生大会が開催されています。そして昭和29年にはわが国最初の精神衛生実態調査がおこなわれました。この29年に第1回全国精神衛生相談所長会議が開催されたと記録にあります。

精神衛生センターの前身である精神衛生相談所について注目されることは、昭和31年11月に「精神衛生相談所業務指針」が出されていることです。そして昭和34年8月には「精神衛生相談所運営要領」もつくられていることです。この運営要領は大変完備されたもので、後に昭和41年の法改正時に出された「保健所における精神衛生業務運営要領」の下敷になったものです。

厚生省に精神衛生課が設けられたのは昭和31年です。この前身は優生課（昭和13年）で、現在（昭和59年）まで3たびの改姓があって今日は精神保健課になりました。まさに時代の移り変りを感じる次第です。戦後の荒廃の中での昭和20年代にはすでに精神衛生活動のほう芽がみられます。

昭和30年代に入って注目されるものは、第2回の全国精神衛生実態調査（昭和38年）とライシャワー事件（昭和39年3月）です。特にこの事件はその後のわが国の精神衛生の発展にはかりしれない影響を及ぼすことになったと思います。精神衛生法が改正され精神衛生センターが生まれることになったのも、この事件がきっかけになったわけです。

そしてまたこの昭和30年代は、われわれ精神衛生センター長会にとっても忘れられないことがありました。それは昭和39年11月にセンター長会の前身である「全国公立精神衛生相談所長会」が誕生したことです。

2. 全国公立精神衛生相談所長会の発足について

全国公立精神衛生相談所長会が発足したのは昭和39年11月18日でした。仙台市で開催された第12回

全国精神衛生大会の時です。

この相談所長会の設立には当時次のような事情がありました。それは昭和34年以来、都道府県立精神病院長と公立精神衛生相談所長とは、厚生省の主催で、合同研究会を例年秋の精神衛生全国大会の時に開催していた。ところが昭和38年に、公立精神病院長は自治体病院協議会の方に移ることになった。そのため研究会は中止になっていたわけです。

相談所の集まりを再開する必要性を感じていた折にライシャワー事件が発生し、精神障害者の処遇について世論は騒げんとなったわけです。厚生省の要望もあり、相談所長会設立の準備が急速にすすめられることになったわけでした。

当時私や太田（茨城）、松村（富山）の各相談所長が互に連絡しあい、昭和39年5月20日盛岡市で開かれた第61回日本精神神経学会の折に発起人会をひらき設立準備委員会を作りました。厚生省の強力な支援もいただいたわけです。その年の8月に次のような「公立精神衛生相談所長会に関する趣意書」を作成いたしました。なつかしい内容なので掲げさせていただきます。

「全国公立精神衛生相談所所長会に関する趣意書」

近年、我が国に於いても精神衛生に対する関心がとみに増大しておりますことは喜ばしい限りであります。特に去る3月のライシャワー事件を機として世論は精神衛生に対し、著しい関心をよせるにいたりました。他方これを契機として精神衛生法の全面改正が具体的にとりあげられることになり、この法改正では去る7月25日、精神衛生審議会による中間答申がなされました。この答申内容を見ましても、精神衛生活動の実践の場としての「精神衛生相談所」の使命はますます重大なものとなっております。

さて昭和34年以来、厚生省が主催となりまして、都道府県立精神病院長・公立精神衛生相談所長合同協議会を、例年秋に行われる精神衛生全国大会の折に、開催しておりましたことは御存知の事と思っておりますが、この合同会議は、回を重ねるに従い、いろいろな重要な問題が山積するにいたり、むしろ両者を分離し、それぞれの会を持って十分な研究討議をなすことが望ましいと考えられ、昨今（昭和38年）より従来の構想が改められました。すなわち都道府県立精神病院長の集りは、全国自治体病院協議会が主催となり、公立精神病院協議会として発足したわけでありまして。

他方、公立精神衛生相談所長の集りは、未だその協議の場を持つにいたらないまま、今回にいたっている次第であります。全国各地の精神衛生相談所より速かに連絡協議の場がほしいとの強い要望があり、亦さきにもふれました精神衛生についての客観状勢の重大な変化をもあわせ考え、去る5月20日、盛岡市に於て開催されました第61回日本精神神経学総会の折に、たまたま連絡のとりやすかった有志一同が集まり、精神衛生相談所の事業及び運営の向上と相互連絡とを図り、会員及び精神衛生相談所相互の学術研究と懇親とを目的として「全国公立精神衛生相談所長会」の設立のための発起人会が持たれました。

この発起人会は、その目的を達成するために「全国公立精神衛生相談所長会」を設立したいと考え努力を重ねているわけでありまして、ここに勝手ながらその主旨をお伝えいたし、御賛同いただき会の発足に御協力下さるようお願い申し上げます。

なお今後の予定といたしましては、来る11月18日宮城県仙台市に於いて開催される第12回精神衛生全国大会に於てその発会式を持ち、会則その他について御審議をいただきたいと考えております。

昭和39年8月

発起人(順不同)

小川 芳雄	宮城県精神衛生相談所所長
五十嵐 新	東京都梅ヶ丘精神衛生相談所所長
太田 広三郎	茨城県精神衛生相談所所長
小坂 英世	栃木県精神衛生相談所所長
松村 清年	富山県精神衛生相談所所長
山田 広実	愛媛県精神衛生相談所所長
北岡 修	兵庫県中央精神衛生相談所
川口 宏	和歌山県精神衛生相談所
小林 普	愛知県精神衛生相談所
石原 幸夫	神奈川県中央精神衛生相談所

賛同人(順不同)

鈴木 一男	厚生省精神衛生課長
大谷 藤郎	厚生省精神衛生課技官
百井 一郎	厚生省保健所課技官
村松 常雄	国立精神衛生研究所所長
加藤 正明	国立精神衛生研究所部長
中川 四郎	国立精神衛生研究所部長
菅野 重道	国立精神衛生研究所部長
高臣 武史	国立精神衛生研究所部長
岡田 敬蔵	東京都立松沢病院副院長
竹谷 政男	大阪府立厚生福祉センター長

設立当時の役員が次の通りでした。

「公立精神衛生相談所所長会名簿」(39. 11. 18)

会 長

五十嵐 新, 東京都梅ヶ丘精神衛生相談所(東京都世田谷区松原町4の312)

副会長

村上新太郎 埼玉県精神衛生相談所(県立大宮保健所長)(埼玉県大宮市吉敷町1の124県立大宮保健所併設)

岩谷 清秀 愛知県城山精神衛生相談所(専任)(名古屋市千種区徳山町4の1県立城山病院内)

常任理事

- 太田広三郎 茨城県精神衛生相談所（専任）（水戸市田見小路602茨城県国保会館内）
渡辺 良一 神奈川県中央精神衛生相談所（県衛生部予防課長）（横浜市中区富士見町2の11）
中島 元一 岐阜県精神衛生相談所（岐阜市日の出町5丁目）

理事

- 小坂 享 北海道帯広精神衛生相談所（帯広保健所長）（帯広西四条南六丁目道立帯広保健所併設）
小川 芳雄 宮城県精神衛生相談所（県中央児童相談所長）（仙台市北八番町206県中央児童相談所併設）
松村 清年 富山県精神衛生相談所（専任）（富山市大手町1丁目富山保健所内）
丸山 創 長野県精神衛生相談所（松本保健所長）（松本市鷹匠町26県松本保健所併設）
井上 謙 大阪府精神衛生相談所（府立公衆衛生研究所部長）（大阪市東成区森町南1-76）
三好 幸三 岡山県精神衛生相談所（専任）（岡山市東古松80）
山田 広実 愛媛県精神衛生相談所（専任）（松山市三番町愛媛県松山庁舎内）
馴田 利章 福岡県精神衛生相談所（専任）（福岡市天神1丁目5の3）
滝井 督三 神戸市兵庫精神衛生相談所（兵庫保健所長）（神戸市兵庫区東山町2の1兵庫保健所併設）

監事

- 広山 保男 千葉県精神衛生相談所（中央保健所長）（千葉市神明町204中央保健所併設）
則武 徳雄 札幌市立精神衛生相談所（中央保健所長）（札幌市南九条西7丁目札幌中央保健所併設）

会員

- 石金 昌晴 北海道立網走精神衛生相談所（道立向ヶ丘病院長）（網走市向陽4の3道立向陽ヶ丘病院併設）
斎藤 栄滋 青森県精神衛生相談所（青森保健所長）（青森県大字浦町字野脇青森保健所併設）
田中 善立 秋田県精神衛生相談所（県立中央病院精神科科長）（秋田市上中城町4県立中央病院併設）
山口 正志 山形県精神衛生相談所（山形保健所長）（山形市緑町1丁目5の41県山形保健所併設）
丸井琢次郎 福島県精神衛生相談所（福島医科大学教授）（福島市御山町48保健センター内）
松井 好夫 群馬県精神衛生相談所（県立高崎療養所長）（高崎市寺尾町2,412県立高崎療養所併設）
塩沢 満 栃木県精神衛生相談所（県保健予防課長）（宇都宮市西原町2,909宇都宮保健所内）
山田建次郎 神奈川立平塚精神衛生相談所（平塚保健所長）（平塚市平塚1724県立平塚保健所併設）
猪原 清 福井県精神衛生相談所（県立精神病院長）（福井市四つ居町13の26福井県立精神病院併設）
田原 幸男 静岡県精神衛生相談所（養心荘病院長）（静岡市与一右衛門新田335県立病院養心荘併設）
鳥居 義郎 愛知県豊橋精神衛生相談所（豊橋保健所長）（豊橋市東松山町23豊橋保健所併設）
森田 穰 三重県精神衛生相談所（四日市保健所長）（四日市市西新地町四日市保健所併設）